

# 会報



# 校歌 『愛の学び舎』

井田誠一 作詞  
宮田 進 作曲

すずかけの 若葉の窓べ  
友と語らう 今日のよろこび  
平和の小鳩 空たかく  
ああ あふれる 智恵の泉  
自由の学び舎 八王子学園

武蔵野の みどりの丘べ  
友と夢みる 明日のしあわせ  
文化の光 野にみちて  
ああ きらめく 若き力  
自由の学び舎 八王子学園

花かおる 心の広場  
日ごといそしむ 愛のまなびや  
希望の旅路 雲とおく  
ああ はばたく 智恵のつばき  
自由の学び舎 八王子学園



## ご挨拶

八王子学園同窓会  
会長 濱野 益男

平素は同窓会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

同窓会の活動も、卒業生諸氏を始め皆様方のご支援を戴きながら、滞りなく進めることが出来、間もなく創立80周年を迎えます。

さて、「令和」という新しい時代をむかえて同窓会活動も新しい考えのもと運営することが求められてくるのではないのでしょうか。

私が入学した頃、戦後の「昭和」、その後の「平成」と時代が変わるとともに卒業生を取り巻く環境、同窓会についての考え方も大きく変わりました。

特に、パソコンの発達、スマホ等の携帯端末の普及は、学園生活に大きな影響を与えていると言えます。現在では、学生、生徒達にとってなくてはならない必需品となっており、そして、結果として、卒業の時に作る卒業名簿・住所録はいらないという新しい問題が派生しました。携帯に登録しておけば、卒業後、どこに進学、就職、居住しても連絡は直ちに取れるという時代になりました。

当初、卒業生が卒業名簿・住所録を作らないと言うこの話を知ったときは、最近多発している「オレオレ詐欺」に悪用されないためのことと考えていました。

しかし、現在の携帯、スマホ全盛の時代にあっては当然派生する問題であり、これからの同窓会活動の根本に関わる問題となることを危惧しており、今後、対応を検討しなければならないと考えています。

今年も同窓会総会の日を迎えました。この日は同窓会過去一年間の活動について会員の皆さんに報告し、新しい一年間の活動計画等についてご審議いただく重要な全体会議の日であります。なお、会議終了後、一堂に会しての懇親、交流の会を行います。会員皆様のご参加をお待ちしています。

## ご挨拶

学校法人八王子学園

理事長 塚本吉紀

今年度は平成から令和にと元号が変わる大きな変化がありました。同窓会の皆様にはご健勝にて日々を送られていることお慶び申し上げます。今年の夏は雨の日が多く、‘夏なの’と感じる時や酷暑が続くなど、人々にとっては体調をコントロールするのに気遣った夏でした。オリンピックムードの高い日本国内、そんな中、生徒たちはいろいろのところで活躍をしていました。インターハイで陸上部の津川瑠衣さんが女子400mハードルで優勝、他にリレーを含め男女で4種目に入賞、また、水泳部も数々の種目で入賞者を輩出しました。残念なのは野球部が早く敗退したこと、男子バスケットが僅少さで東京代表2校に入らず全国大会に参加できなかったことでした。吹奏楽部がマーチングバンドで東京都代表として出場することになりました。その他、ボランティア部は温かい社会への礎と地道な奉仕の応援の道を一步一步歩む活動を、グローバルな心を育もうと歩むインターナショナル部など多くのクラブがいろいろな活動をしておりました。

学園の創立時は、学びに燃えた近隣の生徒が多く集まった学校で、進路先も厳しい大学に入学する生徒もかなりいたようです。その当時に戻ったかのように、大学進学面では内進生が現役で東京大学に入学したのをはじめ、多くの生徒が望む大学に合格できました。まさに、今の八王子学園八王子高校は文武両道で歩んでいると言えるでしょう。

昨年の総会にも出席させていただきましたが、ご出席の皆さんが年齢の高い方が多いように見受けられました。30代・40代の方々には仕事や家庭のことで多忙で同窓会への目が見られない状況も理解できますが、八王子学園の先々のことを考えると同窓会の運営にかかわって頂かないと運営が厳しくかつ細ってしまうように感じました。

学園のモットー「人格を尊重しよう」「平和を心につちかおう」を生徒がしっかりと心に刻み、自らの日々の生活の中で修得に努力をしてほしいと思います。勿論そこには先生方の温かい支援と援助の言葉かけや、教師自らの言動で示す場面が多くあるように願っています。多くの先輩たちの残した実績や今社会で活躍している卒業生の教えを大切に、我々を導く標となり社会で評価されていることを肝に銘じ、後輩たちが努力していくことを願っています。

少子化が急テンポで進行し、経済への影響をはじめ世の中のシステムや産業までを変容させようとしています。本園では幼稚園での園児の定員確保が厳しくなっています。しかし、一方首都圏では、親は子どもへの投資に力を入れるようで、中学生の私立志向が増加しているようです。そのような少子化の中でも、自分で自分を磨く向上心や意欲のある子が自分の目指す学校として、八王子学園の中・高等学校を選び、受験し、通学生となることを願っています。それには八王子学園の卒業生の声援や見本像が大きく影響を与えるのではないのでしょうか。

最後になりましたが、同窓生の皆様のご健勝とご活躍をお祈りし、末永い母校へのお力添えをお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

## ご挨拶と本校の様子

八王子学園八王子中学校・高等学校  
校長 小山 貢

同窓会会員の皆様におかれましては、各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、本校創立以来、八王子学園八王子中学校・高等学校が発展し今日に至る間、クラブ活動や教育活動などに対する物心両面のご支援を頂き深く感謝しております。

野球部の今年の夏の甲子園は、残念ながら三回戦で惜敗し甲子園出場は果たせませんでした。多数の同窓会の方々が球場に応援に詰めかけていただき感謝に堪えません。

平成24年度に中学校を開校し8年目を迎え、在校生は中学校10クラスで昨年より40名増え307名、高等学校は36クラスで昨年より28名増え1460名で中高合計1795名の在籍となりました。また、中高一貫生の2期生が現役で東京大学理科一類に合格を果たしたのも嬉しい出来事でした。

創立者市川英作先生の教育理念「人格を尊重しよう・平和を心につちかおう」に基づき、生徒の多様な価値観や将来の希望に合わせて、中学では東大医進クラスと一般特進クラスのコース制を採用しています。また、高校では文理コース（特進クラス・選抜クラス・進学クラス、総合進学コース〈文科系/音楽系/美術系〉）、アスリートコースの3コース・3クラス・3類系を採用しています。教職員がお互いの思いをひとつにし、生徒がお互いの価値観や多様性を尊重しながらお互いに切磋琢磨し自立を目指す教育活動を推進するとともに、高いレベルでの文武両道を目指しております。同窓会の皆様には、今後とも変わらぬご協力とご支援をよろしくお願い申し上げますとともに、ますますの発展をご祈念いたします。（次の表は、本年4月の主な大試結果）

大学名	学部名	現役	過年	合計	大学名	学部名	現役	過年	合計
帯広畜産大学	畜産学部	1	0	1	慶應義塾大学	看護医療学部	2	0	2
北海道大学	総合入試理系	1	1	2	慶應義塾大学	経済学部	0	1	1
山形大学	工学部	0	1	1	慶應義塾大学	文学部	2	0	2
茨城大学	理学部	1	0	1	慶應義塾大学	薬学部	0	1	1
埼玉大学	工学部	1	0	1	慶應義塾大学	理工学部	1	0	1
千葉大学	理学部	0	1	1	慶應合計		5	2	7
電気通信大学	情報理工学部	2	3	5	上智大学		3	4	7
東京大学	理科一類	1	0	1	東京理科大学		7	4	11
東京外国語大学	国際社会学部	1	0	1	早慶上智理科大合計		23	17	40
東京学芸大学	教育学部	2	2	4	明治大学		28	8	36
新潟大学	農学部	1	1	2	青山学院大学		23	3	26
山梨大学	医学部(看護)	1	0	1	立教大学		8	6	14
名古屋大学	医学部(看護)	0	1	1	中央大学		30	7	37
鹿屋体育大学	体育学部	0	1	1	法政大学		19	8	27
前橋工科大学	工学部	1	0	1	MARCH合計		108	32	140
首都大学東京	人文社会学部	1	0	1	日本歯科大学	生命歯学部	1	0	1
首都大学東京	法学部	1	0	1	明海大学	歯学部	3	0	3
首都大学東京	経済経営学部	1	0	1	慶應義塾大学	薬学部	0	1	1
首都大学東京	理学部	2	2	4	東京理科大学	薬学部	0	1	1
首都大学東京	都市環境学部	1	0	1	昭和大学	薬学部	1	0	1
首都大学東京	システムデザイン学部	3	0	3	東京薬科大学	薬学部(男子部)	1	0	1
横浜国立大学	理学部	2	0	2	東京薬科大学	薬学部(女子部)	2	0	2
都留文科大学	文学部	1	0	1	日本大学	薬学部	1	0	1
都留文科大学	教養学部	1	1	2	明治薬科大学	薬学部	0	1	1
山梨県立大学	人間福祉学部	1	0	1	帝京大学	薬学部	1	2	3
静岡県立大学	国際関係学部	0	1	1	帝京平成大学	薬学部	2	0	2
大阪府立大学	生物環境科学部	0	1	1	横浜薬科大学	薬学部	2	0	2
国公立合計		27	16	43	北海道医療大学	薬学部	0	1	1
早稲田大学	基幹理工学部	1	0	1	東北医科薬科大学	薬学部	1	0	1
早稲田大学	教育学部	3	3	6	国際医療福祉大学	薬学部	1	0	1
早稲田大学	社会科学部	0	1	1	同志社女子大学	薬学部	0	1	1
早稲田大学	商学部	0	1	1	麻布大学	獣医学部	1	0	1
早稲田大学	スポーツ科学部	1	0	1	医歯薬獣医合計		17	7	24
早稲田大学	先進理工学部	1	0	1					
早稲田大学	創造理工学部	1	0	1					
早稲田大学	文化構想学部	0	1	1					
早稲田大学	文学部	0	1	1					
早稲田大学	法学部	1	0	1					
早稲田大学	早稲田合計	8	7	15					

# 定期総会次第

令和元年11月3日(日) 午後1時 開会

司会進行：副会長

- ◎ 開会の辞 八王子学園同窓会 副会長
- ◎ 校歌「愛の学び舎」斉唱
- ◎ 同窓会長挨拶 八王子学園同窓会 会長 濱野 益 男
- ◎ 来賓祝辞 学校法人八王子学園 理事長 塚本 吉 紀 殿

八王子学園八王子中学校・高等学校  
校長 小山 貢 殿

- ◇ 議長等の選任 議長 (高校 回)
- 書記 (高校 回)
- 議事録署名人(2名) 濱野 益 男 (高校4回)
- 新井 雅 之 (高校30回)

- ◎ 議 事
  - 平成30年度 事業報告
  - 平成30年度 決算報告
  - 平成30年度 監査報告
  - 令和元年度 事業計画(案)
  - 令和元年度 予算(案)
  - 任期満了に伴う役員の改選
  - その他

- ◇ 議長解任

- ◎ 閉会の辞 八王子学園同窓会 副会長

- 
- ◆ 吹奏楽部歓迎演奏(於：校内音楽室)
  - ◆ 懇親会(於：富士森会館「海苑」)

## 平成30年度 事業報告

### ◎支援金等の贈呈について

母校在校生の芸術、スポーツ等の部門で優れた活動、成果に対して同窓会の事業の一環として行っている支援金等の贈呈。本年度も各部門で在校生が目覚ましい活躍がありました。本会では、「支援金等支給規定」によりこれを顕彰した。

### ◎同窓会々報の発行

平成30年11月1日 同窓会報第20号を発行した。

### ◎卒業生に記念品の贈呈

「祝卒業 八王子学園同窓会」の銘を入れた電波時計を贈る。また、「同窓会報」を特別に装丁し、卒業生全員に渡した。

### ◎会議等の開催と参加


平成30年11月 4日	第78回八王子学園同窓会定期総会を母校マルチメディア教室で開催。 総会では、平成29年度事業報告、決算報告及び平成30年度事業計画案及び予算案等を審議、承認した。 第二部懇親会を富士森会館「海苑」に会場を移し行った。
12月 5日	男子バスケット部ウインターカップ出場壮行会 役員が出席した。
平成31年 1月 8日	三役会開催。
3月 6日	八王子学園八王子高等学校卒業式（オリンパスホール八王子） 同窓会々長より祝辞を贈る。
15日	八王子学園八王子中学校卒業式（本校講堂） 役員が出席した。
4月 8日	八王子学園八王子中学校・高等学校入学式（オリンパスホール八王子） 役員が出席した。
29日	役員会開催。
令和元年 6月22日	三役会開催。
7月 4日	陸上部インターハイ出場壮行会 役員が出席した。
18日	水泳部世界ジュニア水泳選手権出場壮行会 役員が出席した。
9月 6日	理事会開催。
10月 8日	平成30年度会計監査の実施。
同日	理事会開催。
同日	幹事会開催。


# 監査報告書

令和元年 11 月 1 日

八王子学園同窓会

会長 濱野 益男 殿

監 事 長谷部建司 

監 事 池上洋平 

私共は、八王子学園同窓会の平成30年度(第78回、平成30年11月1日から、令和元年10月31日まで)収支報告書について、本日、同窓会事務局内で監査いたしました。

監査の結果、下記のとおりご報告いたします。

## 記

八王子学園同窓会の平成30年度収支報告書は、銀行等通帳、帳簿記録及び証憑書類の記録と一致しており、また、収入及び支出の内容については特に指摘すべき事項はありませんでした。

よって、私共は上記の収支報告書が八王子学園同窓会の収支状況を適正に表示しているものと認めます。

以上



## 平成30年度(第78回) 八王子学園同窓会収支報告

自 平成30年11月 1日  
至 令和 1年10月31日

### 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
前年度繰越金	10,723,907	10,723,907	普通預金(5,536,468円、きらぼし銀行西八王子支店) 定額郵便貯金(5,000,000円) 郵便貯金(187,439円)
入会金(終身会費)	3,262,000	3,269,000	@7,000円×467名
預 金 利 息	50	51	きらぼし銀行普通預金利息(17円) 多摩信用金庫普通預金利息(34円)
雑 収 入	60,000	79,000	懇親会参加費(@1,000円×79名分)
合 計	14,045,957	14,071,958	

### 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
総 会 費	600,000	455,135	総会々食代(H30.11.4、於:富士森会館「海苑」、他)
会 議 費	200,000	163,910	役員会(20,000円)、理事会(15,440円)、三役会(81,770円)、幹事会(46,700円)
印 刷 製 本 費	300,000	211,376	卒業生配布用会報印刷代(121,824円)、総会配布用会報印刷代(60,500円) 幹事会・総会出欠往復ハガキ及び総会開催ハガキ印刷代(29,052円)
事 務 局 費	150,000	150,000	諸経費
通 信 費	120,000	121,408	幹事委嘱状郵送代(3,360円)、往復ハガキ代(@124円×7枚、868円) 往復ハガキ代(@126円×730枚、91,980円)、ハガキ代(@63円×400枚、25,200円)
交 通 費	25,000	25,520	理事長・校長総会時交通費(@3,000円×2名分) 役員交通費(19,520円、遠方来校者)
支 援 費	2,000,000	1,410,000	クラブ支援金等(支援金800,000円、激励金350,000円、壮行会祝い金20,000円、 八学杯協賛金240,000円)
慶 弔 費	30,000	20,000	役員退任に伴う永年功労顕彰費(須田氏・渡辺氏)
諸 会 費	20,000	0	
記 念 品 費	530,000	429,640	卒業記念品代(電波時計、@920円×467個)
雑 費	50,000	2,250	賞状用額代(@1,125円×2枚)
予 備 費	300,000	0	
合 計	4,325,000	2,989,239	

差 引 残 高	9,720,957	11,082,719	次年度繰越金 普通預金(5,895,280円、多摩信用金庫散田支店) 定額郵便貯金(5,000,000円) 郵便貯金(187,439円)
---------	-----------	------------	---

平成30年度 クラブ支援金内訳

クラブ名	金額
吹 奏 楽 部	65,000 円
書 道 部	90,000 円
陸 上 競 技 部	315,000 円
男子バスケットボール部	460,000 円
女子バスケットボール部	60,000 円
水 泳 部	255,000 円
柔 道 部	90,000 円
野 球 部	50,000 円
山 岳 部	25,000 円
計	1,410,000 円

## 令和元年度 事業計画(案)

例年の同窓会活動を踏襲するとともに、同窓会活動の活性化と効率化を図る活動を進めて参ります。

なお、本年は任期満了に伴う役員改選が予定されており、事業計画等について一部変更になる場合があります。

### ◎支援金等の拠出について

同窓会の事業として、母校在校生の優れた活動に対し行う援助活動は本年度も継続して実施して参ります。

### ◎同窓会報の発行

同窓会報を令和元年11月1日に発行します。また3月には新会員用(卒業生用)の会報を作成し、交付する予定です。

### ◎卒業生に記念品の贈呈

新卒業生に対する記念品の贈呈は、例年の通り本年度も実施の予定です。品物等については、後日、協議の上決定します。

### ◎会議等の開催

三役会、理事会、幹事会等の会議を開催し、必要に応じ会則の検討、会報発行に係わる委員会を開催します。

### 同窓会からのお知らせ

#### ◆令和元年度 同窓会定期総会について

下記のとおり開催いたしますので、同窓生の皆様奮ってご参加下さい。

日時 令和2年11月1日(日) 午後1時より

会場 母校マルチメディア教室

※総会終了後、懇親会を開催いたします(会費1,000円予定)。

## 令和元年度(第79回) 八王子学園同窓会収支予算(案)

自 令和1年11月 1日  
至 令和2年 9月30日

### 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	11,082,719	普通預金(5,895,280円、多摩信用金庫散田支店) 定額郵便貯金(5,000,000円) 郵便貯金(187,439円)
入会金(終身会費)	3,332,000	@7,000円×476名
預 金 利 息	50	普通預金利息
雑 収 入	60,000	懇親会参加費(@1,000円)、他
合 計	14,474,769	

### 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
総 会 費	500,000	総会々食代(R1.11.3、富士森会館「海苑」)、他
会 議 費	150,000	役員会・理事会・三役会・幹事会等会議費、他
印 刷 製 本 費	250,000	卒業生配布用会報印刷代、総会配布用会報印刷代 幹事会・総会出欠往復ハガキ及び総会開催ハガキ印刷代、他
事 務 局 費	150,000	諸経費
通 信 費	150,000	幹事委嘱状郵送代、幹事会・総会出欠往復ハガキ代、総会開催通知ハガキ代、他
交 通 費	30,000	役員交通費(遠方来校者)、他
支 援 費	1,800,000	クラブ支援金、他
慶 弔 費	30,000	役員退任に伴う永年功労顕彰費、他
諸 会 費	20,000	
記 念 品 費	500,000	卒業記念品代、他
雑 費	50,000	賞状用額代、他
予 備 費	300,000	
合 計	3,930,000	
差 引 残 高	10,544,769	次年度繰越金 普通預金(5,357,330円、多摩信用金庫散田支店) 定額郵便貯金(5,000,000円) 郵便貯金(187,439円)

## 支援金支給クラブの活動報告



同窓会の皆様には、日頃より多大なご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際にはご援助も頂き、重ねて御礼申し上げます。

さて、今年のご報告ですが、まずは8/10(土)～15(木)府中の森芸術劇場で行われた『第59回東京都高等学校吹奏楽コンクール』にA組(55名)・B組(35人)・C組(20人)の全部門に出場致しました。



昨年同様、B組は名誉顧問の高瀬新一郎先生に指揮をとっていただき、A,C組を私が指揮をさせていただきました。今年も全ての組で金賞を受賞、A組は無事に東京都大会へ駒を進め、B,C組は金賞の中でも第1位に当たる最優秀賞を受賞しました。コンクールは人数制限があることから、舞台に立っていないS(サポート)組も30名以上おります。その生徒たちの懸命なサポートこそが各組が本番で力を発揮できる大きな要因にもなり、全組が最高位を受賞するという10年ぶりの快挙を成し遂げることができました。

そして9/7(土)に行われた『第59回東京都吹奏楽コンクール』に出場しました。会場は、予選と同様府中の森芸術劇場で行われました。この大会は、8月の予選で出場した70校のうち上位12校が出演するもので、どの学校も大変素晴らしい演奏を披露しました。今年は、本校を含む4校が金賞を受賞。その中から上位3団体が全国大会への推薦を受けますが、残念ながら本校は選出されませんでした。3年連続の全国大会出場が叶わずとても悔しい結果となりましたが、真摯に受け止めた来年に繋げていきたいと思っております。



次に、『第32回全日本マーチングコンテスト東京都大会』が8/31(土)にエスフォルタアリーナ八王子で開催され、本校は高校以上の部に出場しました。6団体が出場し、本校を含む3校が金賞を受賞。その中から1団体のみが全国大会へ推薦されますが、見事その1枠を本校が勝ち取ることができました。マーチングコンテストの全国大会は3

年ぶりで、大きな喜びと共に、東京代表としての責任をしっかりと果たさなければならないと、部員達と更に磨きをかけていくことを約束しました。全国大会は11/24(日)大阪城ホールで行われます。1万人以上のお客様に観ていただける大会ですので、本校の名前をしっかりとアピールできるように精進して参ります。

今年は、これらの大会の他にも「ミュージックステーション」や「24時間テレビ」にも出演させていただき、多くのメディアに取り上げていただきました。このような貴重な経験ができるのも、日頃より厚いご声援をくださる同窓会の方々をはじめ、学校関係者全ての方のお陰と心より感謝申し上げます。他にも、幼稚園や小中学校、大学、市内外からの依頼演奏等、沢山の本番を控えております。一つ一つの本番を大切に、本気で楽しめる音楽を目指し、持ち前の笑顔で元気に活動してまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご指導の程、よろしくお願い致します。



令和元年 10 月 1 日

## 八王子学園八王子中学校八王子高等学校 書道部 2018～2019 年 活動報告

顧問 笹川裕子

コーチ 鈴木希美

同窓会の皆様には平素より多大なご支援をいただきありがとうございます。

以下に 2018 年 10 月から 2019 年 9 月までの書道部活動報告をさせていただきます。部員数は 18 名(内中学生 4 名)で、現在は全て女子です。

●2018 年 10 月は毎日新聞社主催の「第 27 回国際高校生選抜書展」通称「書の甲子園」と呼ばれる展覧会に出品。前回の「書の甲子園」は 19 カ国・地域、15,630 人が参加しました。全紙大(137 cm×75 cm)または半切大(137 cm×37.5 cm)と大作品のため、書道部のみが参加しています。出品料は無料ですが、入選すると作品を表装して展示するので、表装料を同窓会から援助して頂きました。結果は次の通りです。

### 2018 年 10 月 「書の甲子園」

秀 作 賞	3 年	小林 杏奈
入 選	3 年	清水 美羽
入 選	3 年	宮本 菜穂
入 選	2 年	魚津 菜々美
入 選	2 年	高橋 まこ
入 選	1 年	関根 遥

●2018 年 11 月には創玄書道会主催の「第 55 回全国競書大会」に出品しました。「全国競書大会」は、小学校入学前の幼児から小学生、中学生、高校生、そして一般と、誰もが気軽に参加することができ、日常の勉強で慣れ親しんでいる半紙を主体としたコンクールです。出品料は 350 円で、各自諸経費で徴収しています。結果は次の通りです。

### 2018 年 11 月 「全国競書大会」

大会委員長賞	2 年	高橋 まこ
推 薦	2 年	魚津 菜々美
特 薦	2 年	宮崎 彩依莉
金 賞	2 年	中野 克聡
金 賞	1 年	関根 遥
金 賞	1 年	橋本 麻衣子
金 賞	1 年	益子 世莉
金 賞	中 2 年	小嶋 小雪
銀 賞	1 年	峯 沙織
銀 賞	中 2 年	小林 愛夏莉

●2019年3月は「第55回創玄展」と併設している「第55回創玄学生展」に出品しました。作品の表装料は同窓会から援助して頂きました。結果は次の通りです。

2019年 3月 「創玄学生展」

奨励賞	2年	中野 克聡
奨励賞	2年	魚津 菜々美
特選	2年	高橋 まこ
特選	2年	宮崎 彩依莉
秀作	1年	関根 遥
秀作	1年	峯 沙織
秀作	1年	橋本 麻衣子
秀作	1年	益子 世莉
秀作	中2年	小嶋 小雪
秀作	中2年	小林 愛夏莉



上:中野 克聡 くん



左:魚津 菜々美 さん

●2019年5月には、高野山金剛峯寺主催、毎日新聞社後援の「第54回高野山競書大会」に出品しました。結果は次の通りです。

2019年5月「高野山競書大会」

推薦	3年	魚津 菜々美	準特選	1年	田中 亜弥
協会賞	3年	高橋 まこ	準特選	1年	金嶽 奈央
特選	3年	宮崎 彩依莉	準特選	1年	小甲 睦
特選	中2年	小嶋 小雪	金賞	1年	小原 友唯子
特選	中2年	小林 愛夏莉	金賞	中1年	田中 心美
準特選	2年	橋本 麻衣子	金賞	中1年	椿弥 那美
準特選	1年	山口 ここも	準特選	1年	田中 亜弥

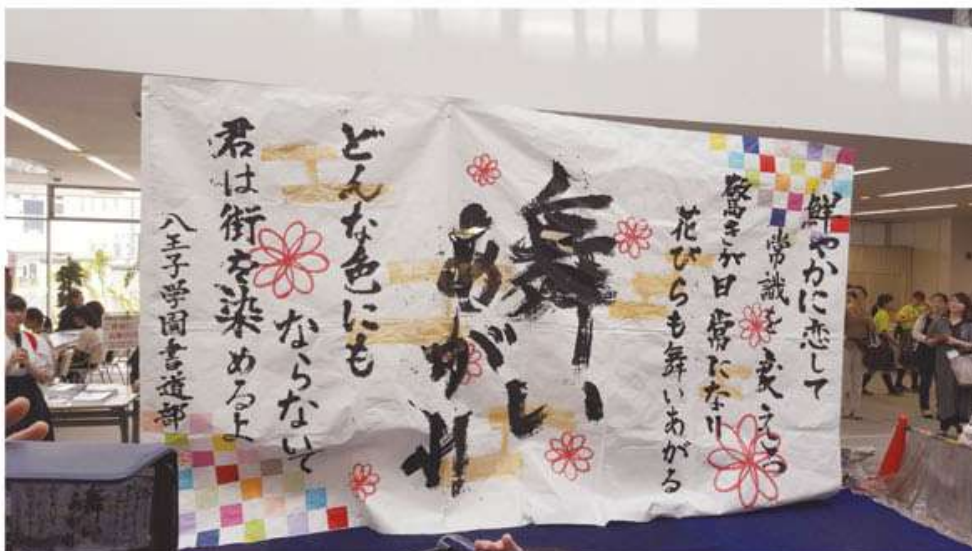


9 月

三井アウトレットパーク多摩南大沢にてパフォーマンスを行いました。



学園祭



# 恩 返 し

八王子学園  
柔道部監督  
川野昭吾

八王子学園同窓会の方々におかれましては日頃より柔道部に心温まるご厚情を賜りまして、深く感謝申し上げます。

柔道指導に微力ながら邁進いたして参りました私も昨年、還暦を迎え、今年でついに39年目の教員生活に突入いたしました。

また、その還暦の祝賀会には200名に及ぶ来賓の方々にご出席を賜わり、温かい祝福をして頂きました。心より感謝し、御礼申し上げたいと思います。



主催致しました大勢の卒業生達もその華やかな会に触れあいまして、感慨深いものがあつたと言っておりました。このように還暦を迎えましても私をはじめ柔道部自体は大勢の方々に支えられ、励まされ、そしてそのパワーによって突き動かされているのだと改めて認識致しました。

柔道部の指導理念の中に『人間力の育成及び形成』という大きなテーマがあります。それはつまり人間力を高められる柔道人を育てるという事かと考え39年間、指導に邁進して参りました。

しかし、高校生達にとりまして、正直技術面や体力面を向上及び強化する事に比べてこの人間力育成の指導の方が大変困難で、それに多くの時間を費やし、繰り返し行わなければ徹底できないのが現状かと思えます。従いまして、私を含め多くの指導者がつついこの部分の教育・指導が手を抜き、技術面や体力面の方に重点を置くという傾向が見られる昨今です。八王子学園柔道部は古臭い指導理念かも知れませんが、現在の主流から外れようともこの人間力作りを中心に修行して行くというスタイルを崩す事無く、これからも直進して行きたいと考えています。変わらなければならない部分はいち早く、取り入れなければなりません、絶対が変わってはいけない部分は何があっても変えないといういわば頑固一徹の姿勢で取り組むのが私自身の指導スタイルと考えております。そのお陰で還暦のお祝いを多くの卒業生達が主催してくれて、私自身も楽しい思いをさせて貰ったという事に繋がったと思っております。この卒業生達の母校愛や柔道部愛、そして指導して来た恩師でもある私への思いや心は八王子学園のどのクラブと比較しても恥ずかしくないバックボーンがあると自負いたしております。この人間力作りの根底にあるのは礼節や思いやり、優しさやその反面にある強さ・厳しさを習得するというのは勿論ですが、その他にも一番、口うるさく指導して来ましたが多くの方々に賜った支援や心に対する『感謝』『恩義』そして『恩返し』です。前記いたしましたように人は必ず大勢の方々に守られながら、時には助けて貰いながら、時には支えられ引っ張って貰いながら一つ一つ階段を昇って行くものと思えます。まさに私や柔道部にとりましては、その多くの方々の中の一つに同窓会という大きなパワーがあり、そ

の賜りましたパワーが日々修行の活力になっていると言っても過言では無いわけです。そのパワーにまずは感謝する事が原点で、感謝をしたらその思いを恩義として己の胸の奥に刻み込むという事を徹底して来ました。そして、やがてその修行の中で蓄えました技術や才能、人間力などの財産が増えたら惜しみなく、恩返しに没頭するという事かと思えます。勿論、高校生の時は各大会で活躍し、一人でも多くの選手が一つでも上の評価を貰い、八王子学園の名を知らしめる事しか恩返しの方法はありません。大学柔道で活躍している卒業生達も同様で、テロップに出る『八王子学園高校出身』という名前を輝かせる事が恩返しかと考えます。

更に、柔道選手から離れた卒業生達は母校愛を高め、柔道部後輩達の活躍に興味関心を持ち、そして何をおいても母校・八王子学園の為にOBとして尽力する事自体が恩返しになるものと思われまます。このように常に『感謝』『恩義』『恩返し』という三つのワードを中心に人間力作りに徹底し、卒業時には他より一歩も二歩も抜き出た柔道人を世に輩出できればと思っています。このような姿勢で現在10数名の部員達が日々修行に取り組んでおりますので、これからも変わらぬご理解とご支援を賜りますように宜しくお願い申し上げます。

また、この39年間の指導者人生の中で数多くの教え子達に恵まれました。前記の通りに八王子学園柔道部で厳しく過酷な3年間の修行を経て、在学中に次の通りに活躍し、功績を残しましたが、卒業後もそれぞれ世界でも著しい活躍をすと言った頑張りを見せてきています。

このスペースを利用してご紹介させて頂きたいと存じます。

## 《関東・全国大会以上の戦績》

- |            |   |
|------------|---|
| ☆関東高校柔道大会  | 男子団体戦（20回出場、ベスト8入賞2回）<br>男子個人戦（2名出場、5位入賞他）<br>女子個人戦（10回出場、準優勝1名、3位2名） |
| ☆インターハイ    | 女子団体戦（2回出場）<br>男子個人戦（4名出場、3位1名、5位2名他）                                 |
| ☆金鷲旗争奪全国大会 | 男子団体戦（ベスト16入賞2回、ベスト32入賞5回）<br>女子団体戦（3回出場）                             |
| ☆全国体育系柔道大会 | 男子団体戦（12回出場、優勝1回、準優勝1回、3位3回）  |
| ☆高校柔道選手権   | 男子団体戦（2回出場）<br>男子個人戦（1名出場、5位入賞）<br>女子個人戦（10回出場、準優勝1名、3位1名、5位2名）       |

上記の成績が、卒業生達が在学中に残した関東大会以上の大会における戦績です。この他にも東京都だけの大会として、関東高校東京都大会団体戦3位2回、5位25回、インターハイ男子団体戦東京都大会3位2回、5位15回、学年別団体東京都大会準優勝1回、3位6回など全国一のレベルの高さを誇ると呼ばれている東京都大会での卒業生達の活躍の足跡です。

また、高校卒業後も柔道修行に邁進し、大学柔道の世界や実業団で卒業生達が大いに活躍しています。

まず、昭和60年度卒の小川直也は柔道人の聖地の域とも言われています全日本選手権を5連覇するなどの活躍を筆頭に、オリンピックで銀メダル獲得や世界柔道選手権で何度かの優勝などの実績を残し、一時期は日本柔道界を牽引する活躍を見せてくれました。

次に、平成16年度に卒業し、國學院大學から神奈川県警に進み、選手として活躍しました古田秀州、高校在学中も切磋琢磨した仲間達と共に顕著な成長を遂げ、全国一のレベルを誇る東京都を制し、全国高校柔道選手権団体戦に出場するなど大活躍しました。

その古田は神奈川県警でも努力を積み重ね、全国警察官柔道大会100kg級で見事優勝、その年の警察日本一に輝きました。

続いて、平成23年度卒で国際武道大に進み、大学卒業後は自衛隊体育学校で実業団選手として活躍している有田竜之介、有田は香港国際柔道大会の66kg級に於いて、各国の強豪選手を打ち破り見事優勝、金メダルを獲得しました。

続いて、平成24年度に八王子学園を卒業し、国士舘大学に進みました藤阪太郎です。

高校在学中は難関・東京都で優勝を飾り、インターハイに出場、インターハイでも上位入賞を果たすなど活躍致しました。その藤阪は大学3年生の時には大学柔道選手の憧れの大会の一つでもあります全日本学生体重別選手権の66kg級で見事優勝、学生日本一に輝きました。これは本校にとりまして、大学1年生で学生日本一に輝きました小川以来の快挙となりました。藤阪はその後、大阪府警に進み、東京オリンピックの選手1次選考会でもありました平成30年度講道館杯全日本体重別選手権66kg級でも見事優勝、これからも更に努力を重ね東京オリンピックを目指すそうです。

次に、現在名門・日本大学で選手として活躍している平成28年度卒の安田拓洋です。

安田は高校時代に何のタイトルも無く大学に入学してから一念発起し、体重も30kg以上増やす努力のすえ、東京都ジュニア選手権100kg級準優勝や全日本学生体重別選手権出場など選手として大活躍しています。

また、OBの有志で創設した川野柔道塾という少年柔道教室も順調に活動を進め、今年は団体戦・個人戦共に東京都で優勝し、全国大会に出場する活躍を残しました。この中から将来の八王子学園の屋台骨を背負って立つ柔道選手が一人でも多く輩出する事が目的で頑張っています。

## 毎年の応援に感謝いたします

八王子学園八王子高等学校

陸上競技部顧問 渡邊 大輔

日頃より同窓会の皆様には、関東大会、インターハイ、全国駅伝出場の際に激励の言葉や支援金を戴いたりとお世話になり有難うございます。

今年度のトラック&フィールドの試合結果は、5月の都総合体育大会では、男子総合2位、女子は3位という結果を残しました。この都大会の結果、笠松運動公園陸上競技場で行われた関東大会には多人



数の出場となりました。関東大会では男子7名、女子13名が6位以内に入賞し、7種目20名が8月4日から8月8日まで沖縄県タピック県総ひやごんスタジアムで行われたインターハイに出場することが出来ました。インターハイでは、男子4x100mRで4位、女子4x400mRで6位、女子400mで7位、女子400mHで優勝と4種目で入賞することができました。特に、女子400mHでは本校史上初の女子のインターハイチャンピオンを出すことができ、ふだんからお世話になっている方々に感謝の気持ちで一杯です。他の種目でも、決勝まであと一步の所で涙をのんだ種目も多く、有望な1、2年生が多くいるので、来年は今年より多く入賞することを目標としていきたいと思ひます。

現在、短距離、跳躍においては都新人大会（9月21、22、23日実施）に臨んでいます。この新人大会で3位までの入賞者は、10月に千葉県で開催される関東選抜新人大会に出場できます。また、10月にはU20・18日本選手権も広島県で開催されます。全国レベルの標準記録を突破し16名がエントリーしています。

U20・18日本選手権、関東選抜新人大会に出場出来なかった者においては来年の活躍を目指し日々練習に励んでいる毎日です。また、11月2日に行われる都駅伝では、男子のみの出場になりますが、6位入賞（関東大会出場）を目標に練習に励んでいます。

去年、今年と非常に良い流れができていますので、来年度におきましても、今年以上の結果を求め頑張っていきたいと思ひます。今後とも応援の程よろしくお願ひ致します。

## 【乾坤一擲】【全国制覇】

八王子学園八王子高等学校  
男子バスケットボール部  
顧問 伊東 純希

同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、今年度前半、我が部は関東大会に出場することはできましたが、インターハイに出場することができませんでした。目標を掲げながら、チーム一丸となって戦いましたが、関東大会東京都予選では準優勝で、関東大会に駒を進めました。同大会では1回戦から苦戦を強いられました。2回戦では法政大二高校（神奈川）と対戦し、3Qまで10点差で勝っていましたが、4Qで逆転され2回戦で敗退しました。

インターハイ東京都予選は順当に勝ち進み、決勝リーグは実践学園高校、国学院久我山高校、成立学園高校とのリーグ戦となりました。結果は2勝1敗と3チームで勝敗が並び、得失点差で2年ぶりにインターハイ出場を逃しました。

また、本校より国民体育大会1名が選出され（1年：吉田君）、本校の選手が全国レベルにおいて高い評価を受けるに至っております。

今後は11月より始まる高校バスケットボール界の最高峰“ウィンターカップ”、その予選突破と本大会出場を目指し、現在、日々練習に励んでいます。

インターハイ17回出場、関東大会19回出場を果たすものの、未だ強豪チームとはいえず、これからも日々精進し、チームの目標、“全国制覇”“日本一”をもう一度勝ち取る為に、頑張っていきたいと思っております。

今後とも同窓会の皆様方には変わらぬご支援の程よろしくお願いいたします。



八王子学園八王子高等学校  
女子バスケットボール部  
顧問 武市 可奈子

同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、女子バスケットボール部活動の様子をご報告いたします。

今後とも同窓会の皆様方には変わらぬご支援の程よろしく願いいたします。

◇女子バスケットボール部の紹介

八王子学園八王子中学校・高等学校女子バスケットボール部は『心をひとつに』をモットーにインターハイ出場を目指し、毎日練習を重ねています。是非、声援をお願い致します。※チームニックネーム『superbees』（蜂のようにうるさいディフェンスを目指します）



◇本校高校女子バスケットボール部も新1年生が9名入部し、2年生が10名、3年生が5名の総勢24名の大所帯になりました。みんな関東大会本大会出場、そしてインターハイ出場を目指して頑張っています。是非応援よろしく願いします。

◇平成30年度新人大会ベスト8

平成31年1月に行われた新人戦ではスターティングメンバーに3年生が2人だけという若いチームで臨みましたが、チーム一丸となってベスト8を死守しました。とても厳しい戦いの中、選手全員が成長できた試合となりました。その後の関東大会では怪我人が出てしまい、ベスト8をキープ出来ませんでした。最後まで真摯に練習し戦う事が出来ました。

◇八王子市内大会優勝

春季・秋季の年二回開催される八王子市内女子バスケットボール大会では、出場18チーム中15年に渡り春季・秋季とも優勝を重ねています。昨年秋に実施された秋季大会でも優勝を果たしました。今年も連覇できるよう頑張ります。

◇夏季大会

今年度初めての公式戦となる高体連主催の夏季大会では見事ブロック優勝を果たしました。上に繋がる大会ではないものの、近年優勝する事が出来なかったのが11月から始まる新人戦大会に向け良い結果を出す事が出来ました。新人戦では東京都ベスト8を目指して頑張ります。応援よろしく願いいたします。

## 2019年 水泳部の活動報告

八王子学園八王子高等学校

水泳部顧問 前田 彩子

2018年9月1日の始業式から現在の2年生と3年生の新たなチームで活動を開始し、その月の下旬に行われた東京都高等学校新人水泳競技大会では、新チームとして初めての試合に臨みました。

男女の新キャプテンのもと、個人の自己新記録更新は勿論、チームとして準備・応援・レースをし、全員が少しでもチームに貢献出来るよう一生懸命取り組みました。

2019年4月男子9名・女子12名の新入部員を迎え、男子22名・女子21名の43名で1年生から3年生まで揃ったチームがスタートしました。今年の3年生を中心に全体でまとまったチームになれるように何度もミーティングを重ね、東京都男女総合優勝を目標に掲げました。

5月のGW合宿では2年生が中心となって後輩の指導をしますが、これから始まる各大会に向けて1年生と2年生の絆も強まり新たな目標を得ることが出来ました。今年度の合宿では、昨年に引き続き、鹿屋体育大学名誉教授で、日本記録を500個以上出された田中孝夫先生にコーチとして来ていただき、活気ある合宿ができました。田中先生のメニューは、距離が長いことで有名ですが、メリハリのある練習メニューに加え、この練習は何に重点をおいて取り組むのか等説明をして下さった上で行うので、練習中からベストタイムを出す選手が何人もおり、活気のある合宿になりました。夜は、2年生が疑問に思っていた点を中心に講義形式で説明をして下さいました。

今年度は東京都高等学校選手権大会において、男女総合優勝を目標に取り組みましたが、結果は男子総合2位、女子総合2位という結果でした。来年に向けて更に調整をし、この目標を達成できるように取り組みたいと思います。4月2日～8日、日本最高峰の試合・第93回日本選手権水泳競技大会に3年12組の荒井悠太、3年9組の小林楓、1年8組の遠藤渚、1年12組の内藤万愛が出場しました。

5月30日～6月2日、日本水泳連盟主催のジャパンオープンにも3年9組小林楓、3年12組荒井悠太、1年8組の遠藤渚、1年12組の内藤万愛が出場しました。

6月22・23日、東京都高等学校選手権水泳競技大会・兼関東高等学校選手権水泳競技大会予選が東京辰巳国際水泳場で行われました。昨年より、男子・女子総合優勝という目標に向けて頑張った結果、男子総合2位、女子総合優勝をすることができました。この大会の結果、関東大会には男女合わせて26名の選手が出場権を得ることができました。

7月20日～22日に山梨県小瀬スポーツ公園水泳場にて関東高等学校選手権水泳競技大会兼日本高等学校選手権水泳競技大会予選（インターハイ予選）が行われました。今年は外のプールでの大会で、暑さや雨の影響があり苦戦した選手も沢山いますが、その環境でも3年生はベストを出した選手がいました。男子総合5位、女子総合5位という結果でした。この大会の結果、男子12名・女子12名、合計24名の選手がインターハイの出場権を得ました。全国でも参加人数は2・3番目に多い学校となっています。

8月17日～20日に全国高等学校総合体育大会が熊本県アクアドームくまもとにて行われました。この大会に重なって、3年12組の荒井悠太は、ハンガリーのブタペストで行われた世界ジュニア水泳競技大会にて、200m平泳ぎ3位、100m平泳ぎ6位という結果でした。今年はインターハ



イの男子メドレーリレーで優勝することを目標に頑張っていたため、荒井も他のメンバーも荒井が国際大会でインターハイに出場できないことを残念がっていましたが、世界で活躍できるように応援し送り出しました。荒井悠太が国際大会で頑張っているときに、3年9組の小林楓は800m自由形で2位、1年12組内藤万愛が200mバタフライ2位と健闘しました。

東京都の高校在籍生徒で4月の試合からインターハイまでの各種大会の記録を参考に国体選手が選考されましたが、本校からは3年12組の荒井悠太、西田大晟、2年12組臼井礼人、1年12組の内藤万愛の4名が東京都代表選手として選ばれました。4名は東京都優勝にも大きく貢献出来ました。

8月24日に行われました三多摩大会では、今年も男子総合優勝を果たすことが出来ました。これで男子は48連覇になります。

2018年度のチームはこの大会をもって終了し、2019年度の男女の新キャプテンに9月1日から引き継がれました。

9月21日・22日に新チームのもとで行われました新人戦では、男子総合優勝、女子総合優勝し、良いスタートを切ることができました。この大会では、来年度に向けて各選手が自分の種目以外の新たなものにも挑戦する機会ともなる大会です。これらを踏まえ、来年のリレーメンバー等も考えていく予定です。

本校水泳部のチーム作りは「憧れをもたれる先輩になれ」を目標に、指導をしています。上級生が自覚をもって下級生に手本となるような行動ができれば必ず良いチームとなり、結果に繋がります。今年度のチームは3年生がまずまとまり、上級生として模範となる行動できるよう3年生全体で何度もミーティングを重ねるところから始まりました。その努力や競技結果から下級生は刺激を受け、来年に向けた目標を新たに持つことが出来ました。毎年、最初は心配でスタートをしますが、関東大会・インターハイでは3年生の背中がとても頼もしく見えます。

最後に、多大なご支援を頂いた八王子学園同窓会の皆様方に深く感謝申し上げます。2020年度に向け気持ちを引き締め、来年度こそ東京都で男女総合優勝できるよう頑張りたいと思いますので更なるご支援とご協力をお願い致します。



## 甲子園“1勝”をめざして

八王子学園八王子高等学校

野球部監督 安藤 徳明

同窓会の皆様には日頃より多大なご支援とご協力を賜り深く感謝いたしております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、野球部の昨年秋から一年間の活動報告をさせていただきます。

昨年夏の全国高校野球選手権大会西東京大会準々決勝で、東海大菅生に3対5で敗退してから約2か月が経った9月、新チームの公式戦が、



平成30年度秋季東京都大会一次予選(ブロック予選)から始まりました。1回戦の相手は多摩大目黒です。1回表、相手投手は立ち上がりが不安定であり、連続四球で無死一、二塁のチャンスをもらい、3番打者宇田川己夢(2年)のレフト前ヒットで2点を先制し、さらに一死満塁から7番和田陸(2年)が四球を選び、押し出しで1点を加え3対0、この試合の主導権を握りました。その後、相手投手は立ち直り、走者は出るものの後続が断たれ追加点を取れませんでした。6回表、相手投手に疲れが出てきたのか、この回先頭打者の和田に四球を与え、一死二塁から9番打者庄村泰心(1年)のライト前ヒットでまず1点、次の1番打者高橋優介(2年)に四球を与えたところで交代、2番打者吉井皓紀(1年)のライトへの3ランホームランで3点を加えました。7回表にも3点を加え、結果10対0の7回コールドで勝利し、次へ駒を進めました。次の試合は、本大会出場がかかるA代表決定戦で、相手は私立武蔵です。2回裏、この回先頭の6番打者松野海舟(2年)、7番打者庄村泰心(2年)の連続四球で無死一、二塁となり、8番打者北澤壮汰(2年)の送りバントで一死二、三塁とし、9番打者和田陸(2年)のライトへの犠牲フライで1点を先取、続く1番打者高橋優介(2年)のライト前ヒットでもう1点を加えました。4回裏、二死三塁から3番打者宇田川己夢(2年)のセンター前ヒットで1点を追加して3対0、前半でこの試合の主導権を握りました。8回裏、2番打者吉井皓紀(2年)から始まり、3連続安打で1点を加えました。結果4対0で勝利をおさめ、本大会出場を決めると同時に、平成31年度春季高校野球大会本大会の出場も決めました。先発投手の背番号11をつける北澤は、この試合一人で投げ切り、被安打6奪三振17の好投を見せ、今後の活躍が楽しみな存在になってきました。

10月、秋季東京都大会本大会が始まりました。1回戦の相手は明星です。序盤は、走者は出すものの決め手に欠き投手戦が続きました。0対0で迎えた4回裏、一死から先頭の5番打者小林大成(2年)がレフト前へヒットを打ち出塁し、続く6番打者坂口雅哉(2年)のライト前ヒットで3塁へ進み、一死一、三塁のチャンス。ここで、走者を出しながらなかなか点が取れない展開だったので、7番打者和田陸に(2年)スクイズのサインが出され、見事にスクイズを成功させ1点を先取しました。7回裏、一死一塁から2番打者山崎諒(2年)が左中間を破る二塁打を打ち、2点目が入りました。この試

合の先発投手である北澤壮汰は、低めにボールを集め、キレのあるストレートを高めのつり球として使うピッチングで、明星の打線を散発3安打無四球完封の好投を見せました。結果2対0で勝利し、2回戦へ駒を進めました。

2回戦の相手は、強豪校の岩倉です。2回表、この回先頭の相手4番打者に右中間へ二塁打を放たれ、続く5番打者にレフト線へヒットを打たれて1点先制されてしまいました。その後は、先発投手である北澤壮汰(2年)の低めを丁寧に突くピッチングの前に相手打線は沈黙していましたが、5回表、8番打者にどんびしゃりのタイミングでライトへのホームランを放たれ、前半を0対2で折り返すことになりました。6回裏、この回先頭の2番打者山崎諒(2年)のレフト線へのヒットをきっかけに眠っていた打線が目覚まし、送りバントをはさんで4本のヒットを放ち、2点を奪い返して同点に追いつきました。北澤をリリーフした武内寛斗(2年)は、6回、7回、8回と相手打線を3者凡退に抑えていましたが、9回表、先頭の相手1番打者にレフト前へヒットを打たれて出塁を許すと、2番打者に送りバントされて一死二塁、3番打者にもレフト前へヒットを打たれて一死一三塁とピンチが広げられ、相手の主将でもある4番打者にレフトへ犠牲フライを放たれて3点目を入れられ、1点リードされてしまいました。9回裏、二死一、二塁とし反撃に出ますが、4番打者宇田川己夢(2年)のサードゴロでゲームセット。結果2対3の1点差で敗れてしまいました。強豪校を相手にすると、なかなか自分たちの野球ができない、練習でやってきたことが実践できない、チャンスにあと1本ヒットが出ない、打線が繋がらないなど、春に向けていくつもの課題が見えた試合だったと思います。

年度が変わった4月、春季本大会が始まりました。前述しましたように、前年度の秋季大会一次予選で勝ち上がり、ブロックのA代表校に決まりましたので、秋季大会本大会はもちろん、春季大会本大会の出場も同時に決まっていたので、3月中旬の一次予選は戦っていません。1回戦の相手は日野です。2回表、先頭の相手5番打者にセンター前へヒットを打たれ、続く6番打者にレフトオーバーの二塁打を放たれて、無死に、三塁のピンチを招いてしまいました。先発投手の北澤壮汰(3年)は、後続の2人を抑えましたが、9番打者の打球を三塁手の宇田川己夢(3年)がエラーし、2点を先に取られてしまいました。3回裏、一死二塁から1番打者松野海舟(3年)がライトへ2ランホームランを放ち、同点に追いつきました。5回表、6回表に1点ずつ取られて2対4とされた7回裏、一死一塁から相手投手の牽制悪送球で一死三塁とチャンスが広がり、二死から2番打者近岡英訓(3年)の打球をショートがエラー、1点を返しました。3対4で迎えた9回裏、二死から2番打者近岡が左中間へ二塁打を放ち、続く3番打者高橋優介(3年)は四球を選び出塁して二死一、二塁となり、4番打者栗林大知(2年)の打球はセカンドへ、万事休すかと思った瞬間、二塁手が弾いて二塁走者近岡がホームインし、土壇場で再び同点に追いつきました。延長10回表、この回先頭の相手3番打者の二塁打などで一死満塁とされましたが、武内寛斗(3年)をリリーフした溝口雄大(2年)が後続を断って無得点に抑えました。その裏、相手投手が荒れ出し、連続四球で無死満塁、1番打者松野海舟(3年)が四球を選んで押し出し1点を取り、結果5対4のサヨナラ勝ちで、2回戦へ駒を進めました。

2回戦の相手は、強豪校の東海大菅生です。1回裏、先発投手の武内寛斗(3年)の立ち上がりを東海大菅生打線が攻め立てて、1番打者は右中間へ二塁打、2番打者は送りバント、3番打者は四球を選び出塁、すかさず盗塁も決められて一死二、三塁とされ、続く4番打者にサード強襲の二塁打を放たれて、早くも2点を先制されてしまいました。2回表、相手先発投手の立ち上がりの不安定さを突き、一死後6番打者の近岡英訓(3年)四球を選び出塁すると、続く7番打者の坂口雅哉(3年)がライト前へヒットを放ち一死一、三塁とし、8番打者の主将である黒田将希(3年)が四球を選んで一死満塁とチャンスを広げました。しかし、相手投手は気持ちを入れ直したのか、後続の2者を連続で三振に仕留め、絶好の

得点チャンスを摘み取られてしまいました。2回裏、一死後相手8番打者にレフトへソロホームランを放たれ、0対3と劣勢に立たされてしまいました。3回以降、互いの打線が沈黙して膠着状態が続き、先発投手の武内をリリーフした溝口雄大(2年)の好救援ぶりに打線が応えたいところであるが、尻上がりに調子がよくなってきた相手投手を打ち崩せないまま、結果0対3で敗れてしまいました。強豪校を相手にして互角に戦うには打撃力をもっともっと向上させ、投手力・守備力をもっと伸ばさなければならぬと思いました。

7月6日、第101回全国高等学校野球選手権大会東・西東京大会開会式が行われて、夏の大会が始まりました。開会式の司会は、明大中野八王子の男子マネージャーと一緒に、本校の女子マネージャー塩原さくら(3年)が務めました。約1時間の大役を見事にこなし、スタンドからも大きな拍手が送られました。この大会のシード校は、今年度の春季東京都大会本大会でのベスト16に入ったところになりますが、春の大会は2回戦で敗退したため、夏の大会はノーシードで2回戦からの登場となりました。初戦の相手は和光です。1回裏、1番打者松野海舟(3年)が右中間を破る二塁打を放ち、2番打者の黒田将希(3年)は内野安打で出塁し、続く3番打者の高橋優介(3年)は死球、無死満塁と絶好の得点チャンスを作りましたが、5番打者の山根響(3年)のショートゴロの間の1点にとどまってしまいました。2回裏、先頭の8番打者和田陸(3年)がレフト前へヒットを放ち出塁し、すかさず二盗に成功、続く北澤壮汰(3年)の送りバントで一死三塁としました。しかし、この回も1番打者松野のセカンドゴロの間の1点にとどまりました。4回裏、一死二塁から9番打者北澤がライト線に三塁打を放ち1点、続く1番松野がライトオーバーの二塁打を放ってさらに1点、3番打者高橋の犠牲フライで三塁走者の松野が生還し、この回3点を加え5対0とし、この試合の主導権を握りました。6回裏にも1点を加え、7回裏、連続四球に暴投で無死二、三塁となり、代打森田将矢(3年)のセンター前ヒットで1点が入り、結果7対0の7回コールドで勝利し、3回戦へ駒を進めました。この試合に先発投手をつとめた北澤は、7回で奪三振13、被安打1の完封でした。

3回戦の相手は帝京八王子です。毎年夏の私学リーグで対戦し、お互いに手の内が知れるチーム同士の対決となりました。1回表、先発投手の背番号20大平真也(3年)はボール先行で球数が多く、一死後、相手の二番打者にセンター前にヒットを打たれ、三番打者に四球を与え、続く四番打者に内野安打を打たれて一死満塁となり、マウンドを武内寛斗(3年)に譲りました。リリーフした武内もピリッとせず、二死後、6番打者に四球を与えて押し出し、相手に1点を許してしまいました。その後武内は、味方打線が相手投手にヒット1本に抑え込まれている状況の中、尻上がりに調子を上げて、走者は出すものの後続を断って4回まで無得点に抑えました。5回表、二死二塁から相手の3番打者に四球を与え、4番打者にサードへ内野安打を打たれて二死満塁とされ、5番打者に左中間へ二塁打を放たれて2点を失いました。7回裏、一死後、7番打者の坂口雅哉(3年)にこの試合チーム2本目となるライト前ヒットが出たものの、後続が凡退して7つ目の0がスコアボードに入りました。相手投手は左腕であり、緩急を織り交ぜた投球に対して各打者はタイミングが合わず、凡打の山を築いてきました。8回裏、二死一塁から途中交代して4番に入った主将の黒田将希(3年)がライトオーバーの二塁打を放ちましたが、一塁走者は三塁止まり。代打宇田川己夢(3年)の一打に期待を寄せましたが、ライトフライで無得点に終わりました。9回裏、この回先頭の途中出場の近岡英訓(3年)レフト前にヒットを打って出塁すると、7番打者の坂口もセンター前へヒットを打って無死一、二塁とチャンスを広げましたが、後続が凡退し、ゲームの流れを引き寄せられないまま試合終了。結果0対3で敗退してしまい、選手たちの熱い夏は、悔しくも2試合目で終わってしまいました。このチームは左腕投手を苦手としていたのかもしれませんが、練習で取り組んできたことが試合でしっかりと発揮できなかったことが大きな敗因だったのではない

かと思いました。また、選手一人一人のレベルアップとともに、チーム全体のレベルアップも今後の課題として取り組んでいきたいと思いました。

現在の部員数は、現役を退いた3年生31人を除いて、2年生32人、1年生21人、そして女子マネージャー2年生3人、1年生2人の計58人です。今夏の西東京大会での悔しい敗戦から2か月間、投手力はもちろんのこと打撃力や守備力のレベルアップ、部員一人ひとりのレベルアップなどを図り、練習内容をより充実させて毎日夜遅くまで練習に取り組んできました。また、8月上旬の私学リーグ、8月中旬の関西遠征など、強豪校を相手に練習試合を数多くこなして実戦力を磨き上げてきました。

2019(令和元)年度の秋季東京都大会は、9月7日から一次予選(ブロック予選)が始まり、わが野球部は、一次予選を勝ち上がって本大会への出場を決めました。10月7日の抽選会を経て、12日から本大会が始まり、熱戦が繰り広げられます。自分たちも絶対に甲子園に行きたいという2年生メンバーに、実力派ぞろいの1年生が加わった新チームが、これからの大会で大いに躍動します。甲子園“1勝”をめざして、甲子園でバックネットを背にして校歌を歌うことをめざして、『必勝 ありんこ軍団』を合言葉に、指導者、選手、ベンチ、スタンドが一体となった「全員野球」で各大会に臨む所存でございます。

今後とも、同窓会の皆様方には相も変わらぬご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 《戦績》

◇平成30年度 秋季東京都高等学校野球大会 一次予選

第7ブロック 1回戦 30.9.8 於：八王子高校柚木野球グラウンド

**八王子** 3 0 0 0 0 4 3 1 0

多摩大目黒 0 0 0 0 0 0 0 0 (7回コールド)

投手―捕手：大平(2年)，北澤(2年)，阿部(2年)―森田(2年)，坂口(2年)

第7ブロック A代表決定戦 30.9.16 於：八王子高校柚木野球グラウンド

(私)武蔵 0 0 0 0 0 0 0 0 0

**八王子** 0 2 0 1 0 0 0 1 × 4 **[本大会出場へ]**

投手―捕手：北澤(2年)―坂口(2年)

◇平成30年度 秋季東京都高等学校野球大会 本大会

1回戦 30.10.6 於：ダイワハウススタジアム八王子

明星 0 0 0 0 0 0 0 0 0

**八王子** 0 0 0 1 0 0 1 0 × 2

投手―捕手：北澤(2年)―坂口(2年)

2回戦 30.10.14 於：ダイワハウススタジアム八王子

岩 倉 0 1 0 0 1 0 0 0 1 3

八 王 子 0 0 0 0 0 2 0 0 0 2

投手—捕手：北澤(2年)，武内(2年)—坂口(2年)

◇平成31年度 春季東京都高等学校野球大会 本大会

1回戦 31.4.3 於：ダイワハウススタジアム八王子

日 野 0 2 0 0 1 1 0 0 0 0 4

八 王 子 0 0 2 0 0 0 1 0 1 1× 5 (延長10回)

投手—捕手：北澤(3年)，武内(3年)，溝口(2年)—森田(3年)，坂口(3年)

2回戦 28.4.6 於：神宮第二球場

八 王 子 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

東海大菅生 2 1 0 0 0 0 0 0 0 3

投手—捕手：武内(3年)，溝口(2年)，小林(3年)—坂口(3年)

◇第101回全国高等学校野球選手権大会 西東京大会

2回戦 2019.7.13 於：ダイワハウススタジアム八王子

和 光 0 0 0 0 0 0 0 0 0

八 王 子 1 1 0 3 0 1 1× 7 (7回コールド)

投手—捕手：北澤(3年)—坂口(3年)

3回戦 2019.7.16 於：ダイワハウススタジアム八王子

帝京八王子 1 0 0 0 2 0 0 0 0 3

八 王 子 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

投手—捕手：大平(3年)，武内(3年)，北澤(3年)，溝口(2年)—坂口(3年)

## 山岳部活動報告

八王子高校山岳部

顧問 三宅貴文

同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、山岳部活動の様子をご報告いたします。

今後とも同窓会の皆様方には変わらぬご支援の程よろしくお願いいたします。

### ➤ 山岳部の紹介

八王子学園八王子中学校・高等学校山岳部は月に1度の月例山行を中心に活動しています。日々の学校での練習は主に体力づくりを行っています。

部員は1年生2名、2年生4名の計6名で活動しています。

### ➤ 主な活動

上記の月例山行に加え、春夏冬に合宿を行っています。この中でも山岳部のメイン行事は夏合宿になります。毎年夏合宿は、北アルプスや南アルプスなどの山域において3泊4日の工程で行っています。残念ながら今年度は台風のため途中で中止になりました。

### ➤ 登山大会について

毎年6月に東京都高体連主催の都大会に出場しています。今年度は4位に入賞し関東大会への出場を決めました。今年度の関東大会は群馬県上州武尊岳で行われます。

### ➤ 今後の活動について

10月の関東大会や冬、春の合宿に向けて部員一同練習に励んでいきたいと思っております。



冬合宿様子



夏合宿様子

## 八王子学園同窓会役員名簿

令和元年11月1日 現在

### ◇八王子学園同窓会役員

役職	氏名	卒業回	卒業年
会長	濱野 益男	高4回	昭27年卒
副会長	坂本 利男	高8回	昭31年卒
〃	根本 明	高16回	昭39年卒
〃	中島 憲	高17回	昭40年卒
〃	山田 実	高25回	昭48年卒
会計	武藤 富美子	高20回	昭43年卒
〃	鴨居 邦子	高21回	昭44年卒
理事	山田 勝彦	旧11回	昭21年卒
〃	内藤 一彦	高2回	昭25年卒
〃	黒沢 愛治	高3回	昭26年卒
〃	田中 克子	高14回	昭37年卒
〃	田中 勝	高14回	昭37年卒
監事	長谷部 建司	高16回	昭39年卒
〃	池上 洋平	高59回	平19年卒

### ◇同窓会選任法人理事

役職	氏名	卒業回	卒業年	選任条項
理事	濱野 益男	高4回	昭27年卒	寄付行為第6条第五号
〃	中島 憲	高17回	昭40年卒	〃

### ◇同窓会選任法人評議員

役職	氏名	卒業回	卒業年	選任条項
評議員	内藤 一彦	高2回	昭25年卒	寄付行為第22条第五号
〃	坂本 利男	高8回	昭31年卒	〃
〃	田中 克子	高14回	昭37年卒	〃
〃	根本 明	高16回	昭39年卒	〃
〃	山田 実	高25回	昭48年卒	〃



# 八王子学園同窓会

事務局

〒193-0931

東京都八王子市台町4-35-1

八王子学園八王子中学校・高等学校内

TEL 042-623-3461

FAX 042-626-5646

URL <http://www.hachioji.ed.jp/>